

テキスタイルデザイン演習 I 評価ルーブリック

評価項目	S・A	B	C	D
タペストリー技法を使うことができる。(C-2)	広く興味関心を持ち、自ら具体的な目標を設定して、タペストリー技法を使うことができる。	広く興味関心を持ち、タペストリー技法を使うことができる。	タペストリー技法を使うことができる。	タペストリー技法を使うことができない。
手織り機を使って織物を制作することができる。(C-2, D)	広く興味関心を持ち、積極的に自ら調べるなど、手織り機を使って織物を制作することができる。	広く興味関心を持ち、手織り機を使って織物を制作することができる。	手織り機を使って織物を制作することができる。	手織り機を使って織物を制作することができない。
織物設計で、使用する糸の長さの計算ができる。(D)	指導教員の助言を参考に、自ら考え、試行錯誤を何度も繰り返しながら、織物設計で、使用する糸の長さの計算ができる。	試行錯誤を繰り返しながら、織物設計で、使用する糸の長さの計算ができる。	織物設計で、使用する糸の長さの計算ができる。	織物設計で、使用する糸の長さの計算ができない。
自己の制作した織りテキスタイル作品について他者にわかりやすく伝えることができる。(D)	発表で熱意や思いを込めて聴衆が内容をよく理解できる発表をすることができる。	発表で、内容が聴衆に伝わるように発表することができる。	発表することができる。	成果を発表をすることができない。